

# 失敗糧に改善続ける努力を



アスクゲートネクスト (本社・札幌) 代表取締役社長 荒田 祐一

■創業期は無いものばかり

私は高校卒業後、出身である旭川で就職しました。旭川では携帯電話販売事業のア

たが、その後、金融関係の会社を経て、2000年に友人と人材派遣サービスのアスクゲートを設立しました。グループ会社は携帯電話販売事業のア

## 地域経営者に学ぶ

2

アスクゲートネクスト

荒田 祐一社長

アスクゲートネクスト、飲食、イナターなどの社長を兼務しています。

事業の出発点は、大手企業のような事務派遣ではなく、引越しの作業員や物流製造関連などの力仕事の手伝いからでした。実績を積み上げる中で当社の強みとなっていたのが農業、水産関係への派遣です。

この分野では「仕事はあるが働いてくれない」という悩みを抱えている企業が多く存在したため、徐々に仕事の依頼が増え、農協や漁協、食品加

工業者など取引先の幅も広がり、会社の拡大・成長につながりました。

中小企業の創業期は、お金や信用、人材、実績など無いものばかりですが、悪いことだけではありません。少人数ゆえ団結力が強く、責任は伴い

きない理由を探さない② 覚悟を決める③夢を語る④責任転嫁しない⑤など共通点があります。石橋をたたいて渡るという格言がありますが、これは経営には当てはまりません。一歩先に抜け出すには、果敢に挑戦していいです。失敗せずに成功した時には「今回はたまたま成功しただけです。また失敗するかもしれません。」

## 北海学園大経営学部後期授業

成功した時には「今回はたまたま成功しただけです。また失敗するかもしれません。」

ですが、自分がやりたいと思ったことをできるといつ特権があるからです。他では真似ができません。差別化を図られる、経営者と社員の距離が近いといった利点もあります。

■責任はトップが負う

優れた経営者には①で

くことに取り組んでいかなくてはならないので、失敗することに慣れておくべきだと思います。

よく失敗した時に「うちの従業員が駄目だから」と言っている人がいますが、責任は最終的にトップが背負うべきです。そういう自覚でやっていると、下に付か